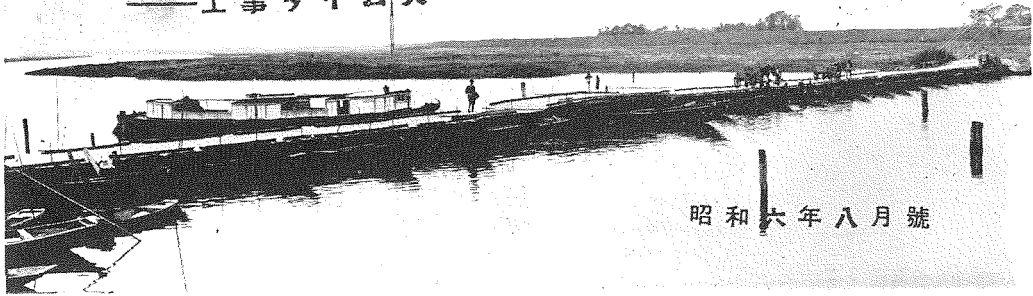


—工事タイムス—



昭和六年八月號

【三國橋開通式】 昨年来茨城縣渡長瀬の偉觀が中心となつて、利根の中流渡長瀬川筋に架設工事中であつた三國橋は愈々此程竣功して七月六日盛大な開通式を擧げた。橋長545.5米、中央徑間タイドアーチ65米三連、兩側徑間プレートガーダー20米十八連。總工費50萬圓で、その名の如く茨城栃木、埼玉の三縣に跨り、工豫も茨城五割、栃木埼玉各二割群馬一割の分割支出である。施工は茨城縣。(カットは新橋架設以前に於ける貨取船橋)

【關門連絡問題に内務省が乗出す】 本年四月號誌上に發表した大吊橋の計畫等により愈々機

運の熟して來た同問題に關しては既に該地點の地質調査を了したる鐵道省及び内務省、民間有志等が合併して調査を進めることを得策とし、今回内務省では省内に臨時道路會議を設け、鐵道、内務、陸海軍の各省及び民間の經驗者を網羅して來年度より三ヶ年計畫のもとに同問題解決のため諸般の事項を調査することゝなつた。尙内務省に於ては關門海峽トンネル開鑿並に附帶設備に關する總工費として現在約3000萬圓見當を見積つてゐると。

○清水隧道九月開通 世界第九位の延長を有する清水隧道並に上越南北線工事は昨秋同隧道貫通後着

々進行中であつたが、漸く來る九月一日開通と決定した。これに依つて北信地方の鐵道輸送史上新一紀元を劃することゝなつた。

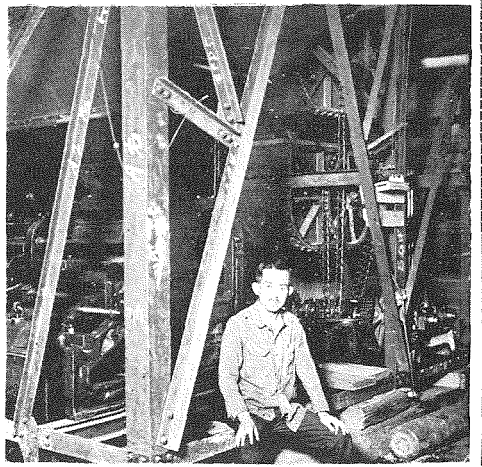
【愛知縣矢作川改修工事認可】 愛知縣では矢作川の改修に應じて支川安永川及五六川沿岸耕地の排水状態を改良することゝなつた爲め縣營の用排水幹線を計畫し農林省の補助を受け前記河川の改修工事の認可を當局に申請中の處この程多少の條件で認可された工費は五十五萬圓で内四十三萬圓に對しては補助金を國庫から受け殘部の十二萬圓は縣費を以つて充當する豫定である。

ウオセクリーター完成

本年一月號の工事畫報誌上に考案を發表して、斯界に多大の注意を喚起したる、眞鍋武雄氏發明のウオセクリーターは、愈々今回製作完成するに至つた。

七月九日記者も其運轉實驗を參觀したるが、セメントペーストの製造方法及び砂、砂利の計量装置も頗る簡単に機械化され、且つ砂、砂利の計量は自動式で自由に圓滑に操縦なし得る。此の機械裝置の點は眞鍋氏が殆んど寢食を忘れて改造を加へたもので、獨得の構造になつてゐる處が多い。

本機は近く鐵道省の兩國お茶水間高架混凝土橋工事に採用さるゝ事に決定した由である。(寫眞は工場に於ける眞鍋氏、背面はウオセクリーター)





堀堤日本委員會 世界動力會  
事務分擔決定 議國際大堰

堀日本國內委員會專門委員は十日  
東京市丸の内電氣クラブに第二回  
事務打合せ會を開催し專門委員を  
二班に分類してそれぞれ研究項目  
の割當て方につき協議を行ふ處が  
あつた、これにより今後専門委員  
は各自擔當の研究問題を解決する  
に努力することとなるものでい  
よ日本國內堰堤委員會の活躍  
時代が到來することとなったもの  
で頗る注目されてゐる。

戸畑市水道 戸畑市水道では  
通水式舉行 工事中の水道が  
竣功したので去る十日天神山淨水  
場内た於て盛大な通水式を舉行し  
た。同工事は總工費 125 萬圓餘。  
昭和四年五月の起工で、特長とす  
る處はオゾン滅菌機の裝置である

東京市河港課 最近東京市河  
運河新設計畫 港課が本所深  
川方面は勿論東京市内の海運業者  
の大いに福音となる計畫を樹てゝ

ある、即ち横十間川筋を東京灣に  
連絡する爲總工費三十餘萬圓を以  
て運河を新設延長三百米、幅員四  
十米を開鑿する計畫であつてこれ  
が完成の曉きは局地が鐵道省の越  
中島停車場の北側に直面して居り  
この方面の水運は木材業者その他  
海運業者にとつては非常に便利と  
なり、東京港と連絡する上にも従  
來の如く隅田川のみならずして  
本所、深川方面は却つて近距離と  
もなる。

九州横斷の 長崎、別府、大  
國際觀光道 分、熊本、佐世  
保、神戸各商工會議所では神戸、  
長崎間の代表的景勝地を連絡する  
九州横斷國際觀光路大幹線を設定  
し交通網の整備と交通設備完成の  
徹底を期せんが爲關係方面で必要  
な建議書を提出したが此程長崎に  
協議會を開催

一、國際觀光路の交通整備及施設  
の改善促進に關する件  
一、旅館及ホテルの新設改善を期

す之に要する資金を國庫より低  
利融通する事  
其他につき協議した。

○信濃川發電施工 鐵道省信濃  
川水力發電所建設に關して今回同  
事務所より水路取入口の設備並に  
洗砂池更に水路の施工に就て伺が  
提出された。

豊橋市下水道 豊橋市は市内  
七ヶ年繼續で 下水道の不完  
全でこれ迄數回に亘つて部分的修  
築を行つたが、根本的に不完全で  
ある爲めに何等用をなまず市民の  
間に大改築が要望されてゐた、市  
下水課ではこれに對して調査設計  
を進めてゐたが先頃の市會に於い  
て單に改築だけでなく大々的な下  
水道計畫を決議し、一方失業救済  
と關せしめて之を實施することと  
なつた。

工費3,149,000圓、本年度より昭  
和十二年度まで七ヶ年繼續事業。

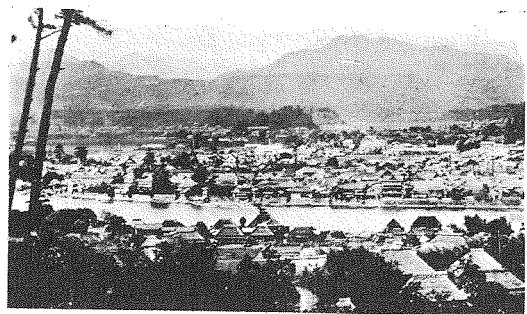
○林野局が檜材宣傳 帝室林野局  
では從來一般に檜材が高價抜ひに

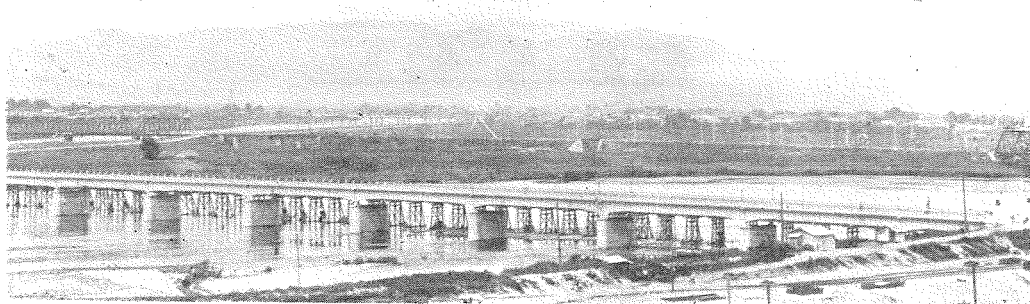
### 久大線の日田

久留米市と大分市を繼ぐ久大線建設工  
事は着々進行し、七月十一日久留米側の  
筑後吉井、筑後大石間營業を開始するに  
至つた。

名勝、日田町より、耶馬溪方面に出る  
旅客には大に便利になつた

カットは左から、日田町全景、三隈川  
の隈浦より錢淵橋を望む、水郷日田、三  
隈川の舟下り。





京阪國道  
御幸橋

されてあるのを打破し、實用向建材として木曾檜を普及すべく大いに努力中であるが、保存力、堅牢度に於ては到底他材の比でなくよく拭き込んだ後の檜材には格別の美觀があり、大節小節の使い方によつては頗る雅致があつて、實用と美觀との點で申分なく、費用も木曾檜の安いものを使用すれば、他の木材より一割増位で出來ると。

○關門地質發表 鐵道省工務局佐伯技師は囊に鐵道省關門隧道出張所に約四ヶ年間在任し同地方の土質と水に關して實地研究を行ひその後同出張所廢止後も引續き學理と實際に就いて研究を進めてゐるが近く同氏は「水の循環と地下水」と銘うつて多年の蘊蓄を著述として發表することとなつたと。

○鐵道省高等官の大異動 大騒ぎのあつた減俸問題もやつと決定し次いで局課廢合を前提とする人員

の大整理を發表して、鐵道省は時ならぬ嵐を生じた。江木鐵相と青木次官が技術に理解の有無は今後國鐵の内容充實に非常な影響を及ぼすものと思はれる。七月一日發表の高等官整理人員七十七名に及ぶ、其中から主要なる工事關係の異動を見ると次の通りである。

異動

工務局長兼任

建設局長 黒河内四郎

監督局技術課長

工務局保線課長 永田 民也

熱海線建設事務所長兼務

東京建設事務所長 竹股 一郎

東京第一改良事務所長兼東京第二改良事務所長

大阪改良事務所長 木村 芳人

大阪改良事務所長兼務

神戸改良事務所長 古川 淳三

東京鐵道局保線課長兼務

東鐵改良課長 松村 務

東京鐵道局電氣課長兼務

東京電氣事務所長 森田 重彦

工務局保線課長

監察官 大田 明治

退職

工務局長 大河戸宗治

東京第一改良事務所長

橋本 敬之

東京第二 良事務所長

池田 嘉六

監督局技術課長

田中 九一

熱海建設事務所長

川口愛太郎

工務局計畫課技師

佐伯 謙吉

東京第二改良事務所技師

吉原 美作

大阪改良事務所技師

萩村金一郎

神戸改良事務所技師

奈良崎泰治

建設局計畫課技師

横尾彦太郎

關山建築事務所技師

石田 靈樹

熱海建築事務所技師

橋本哲 郎

門司鐵道局長

米山 辰夫

東京鐵道局保線課長

岩井宇一郎

東京鐵道局改良課

久米 巖

長野保線事務所長

柏原 甚三

甲府保線事務所長

伊藤龜太路

門司保線事務所長

相澤 一馬

秋田保線事務所長

山口 倫三

釧路保線事務所長

宮下 道一

